

令和3年第4回(12月)上越市議会定例会 一般質問 通告一覧表

表題	令和3年第4回(12月)定例会 一般質問の各日の質問予定者について																																																																	
内容	<p>各日の質問予定者氏名、順番、内容は以下のとおりです。 なお、各日の質問予定者は、変更になる場合があります。</p> <p>●各日の質問予定者</p> <table border="1" data-bbox="432 495 1134 1921"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>順番</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12月7日 (火)</td> <td>1</td> <td>滝沢 一成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>杉田 勝典</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>橋本 洋一</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">12月8日 (水)</td> <td>4</td> <td>牧田 正樹</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>江口 修一</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>栗田 英明</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>こんどう 彰治</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>宮川 大樹</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">12月9日 (木)</td> <td>9</td> <td>宮崎 朋子</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>石田 裕一</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>山田 忠晴</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>小山 ようこ</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>高橋 浩輔</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>ストラットン 恵美子</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">12月10日 (金)</td> <td>15</td> <td>中土井 かおる</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>小林 和孝</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>波多野 一夫</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>高山 ゆう子</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>上野 公悦</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>鈴木 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>丸山 章</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">12月13日 (月)</td> <td>22</td> <td>安田 佳世</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>池田 尚江</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>大島 洋一</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>平良木 哲也</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>橋爪 法一</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>27</td> <td>宮越 馨</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>渡邊 隆</td> </tr> </tbody> </table>	日	順番	氏名	12月7日 (火)	1	滝沢 一成	2	杉田 勝典	3	橋本 洋一	12月8日 (水)	4	牧田 正樹	5	江口 修一	6	栗田 英明	7	こんどう 彰治	8	宮川 大樹	12月9日 (木)	9	宮崎 朋子	10	石田 裕一	11	山田 忠晴	12	小山 ようこ	13	高橋 浩輔	14	ストラットン 恵美子	12月10日 (金)	15	中土井 かおる	16	小林 和孝	17	波多野 一夫	18	高山 ゆう子	19	上野 公悦	20	鈴木 めぐみ	21	丸山 章	12月13日 (月)	22	安田 佳世	23	池田 尚江	24	大島 洋一	25	平良木 哲也	26	橋爪 法一		27	宮越 馨	28	渡邊 隆
日	順番	氏名																																																																
12月7日 (火)	1	滝沢 一成																																																																
	2	杉田 勝典																																																																
	3	橋本 洋一																																																																
12月8日 (水)	4	牧田 正樹																																																																
	5	江口 修一																																																																
	6	栗田 英明																																																																
	7	こんどう 彰治																																																																
	8	宮川 大樹																																																																
12月9日 (木)	9	宮崎 朋子																																																																
	10	石田 裕一																																																																
	11	山田 忠晴																																																																
	12	小山 ようこ																																																																
	13	高橋 浩輔																																																																
	14	ストラットン 恵美子																																																																
12月10日 (金)	15	中土井 かおる																																																																
	16	小林 和孝																																																																
	17	波多野 一夫																																																																
	18	高山 ゆう子																																																																
	19	上野 公悦																																																																
	20	鈴木 めぐみ																																																																
	21	丸山 章																																																																
12月13日 (月)	22	安田 佳世																																																																
	23	池田 尚江																																																																
	24	大島 洋一																																																																
	25	平良木 哲也																																																																
	26	橋爪 法一																																																																
	27	宮越 馨																																																																
	28	渡邊 隆																																																																

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
1	<p>1. 中川市長の政治姿勢等について</p>
21番 滝沢一成	<p>(1) しがらみを持たないという姿勢を示しているが、より具体的に説明してほしい。</p> <p>(2) 政策に係る諮問委員会を設置するとしているが、その設置目的、委員選定の考え方、権限等を明らかにしてほしい。</p> <p>(3) 地域分権を徹底するとしているが、地域自治区や地域協議会の在り方や総合事務所の位置付け等を明らかにしてほしい。また、自治区に予算編成権を与えるのか、与えるとして、各自治区で上がってきた予算案の全ての案件について、市議会による予算審議及び決定権は担保するか。</p> <p>2. 政策協定を結んだとされる市議会議員の扱いについて</p> <p>(1) 報道(11月10日上越タイムス)によれば、記者会見において市長は、選挙時に政策協定を結んだとされる市議会議員について、「私のアドバイザーの役割を果たしてほしい」「私の範囲内で、職員に影響がないようにしたい」「きちっと役職を検討したい」と発言しているが、それらについて明らかにしてほしい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
2	
26 番 杉 田 勝 典	<p>1. 市長の施政方針における政治姿勢などに関して</p> <p>(1) 市行政は継続的な部分もあることから、村山前市長名による令和4年度の予算編成方針について、どのように捉え対応するのか。新たな予算編成方針はいつ出される予定か。</p> <p>(2) 市長公約で地域独自の予算計上を挙げており、その予算額の大きさにもよるが、一方で“市全体の一体感の醸成”の観点から、13区の間には何らかの壁や差異をつくることにつながるのではないか。</p> <p>(3) 現在「第6次上越市行政改革推進計画」が策定されているが、その継続も含め、市長自身が捉える“行財政改革”の見解を聞きたい。</p> <p>2. 感染症対策と経済活動の両立に向けた現状と今後の対応について</p> <p>(1) 令和3年9月17日に受付を開始した第3次事業者経営支援金が、市内企業に約2億円余り振り込まれるなどしている中、上越商工会議所の会員調査資料によると、来期(10~12月)は一部卸・小売業を除き、ほぼ全産業が改善傾向にある上、情報通信業の求人が前年同月比で5倍以上増加するなど、明るい側面も見られている現状だが、観光・飲食などを含め、今後の上越市における地域経済の見通しをどう捉えているか。</p> <p>(2) 当市では新型コロナワクチン接種希望者のほぼ全員が接種を終え、感染者数も激減しているが、感染症対策と経済活動の両立に向けて、特に今後のイベント開催や観光事業などについて、現時点での市としての対応方針を聞きたい。また、どのように市民に呼びかけていくのか。</p> <p>3. 市民課窓口への「おくやみコーナー」の設置について</p> <p>(1) これから増加する遺族の手続きがスムーズに行われるよう、市民の負担軽減や利便性向上も視野に、市民課に「おくやみコーナー」の開設や、「おくやみ手続ガイド」の作成を検討できないか。</p> <p>4. 原油価格高騰による影響について</p> <p>(1) 原油価格高騰による経済への影響をどう捉え、どう対応するのか。</p> <p>(2) 冬期間の暖房費について、生活困窮世帯への灯油購入費を助成する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
3	
16 番 橋 本 洋 一	<p>1. 小中学校の適正配置の取組状況等について</p> <p>(1) 谷浜地区・桑取地区・柿崎区・浦川原区・板倉区の小学校統合や有田地区の小学校分離・新設など、これまでの学校統廃合の取組状況とその効果や課題について聞きたい。また、急速に進む児童生徒数の減少を踏まえ、今後の小中学校の適正配置についてどう考えているか。</p> <p>(2) 廃校した小学校の校舎やグラウンド等の施設の再利用に関する市の考え方と現状について聞きたい。</p> <p>2. 観光戦略について</p> <p>(1) 糸魚川市、妙高市、佐渡市などの近隣自治体及び北陸新幹線沿線自治体との連携を踏まえた広域観光について、現状と今後の戦略について聞きたい。</p> <p>3. 公の施設の適正配置について</p> <p>(1) 本年2月に策定された公の施設の適正配置計画の推進についての考え方を聞きたい。</p> <p>4. 防災対策について</p> <p>(1) 現行の防災対策は何が良くて、何が足りないのか。目指す防災都市の姿はどのようなものか。当市の防災対策について、市長の現状認識と災害対応の基本方針を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
4	
13 番 牧 田 正 樹	<p>1. 市長の基本政策について</p> <p>(1) 選挙戦で掲げた公約と第6次総合計画や第2次財政計画との関係性から、各計画を見直す必要はないか。</p> <p>(2) 市長は、人事改革を公約の柱に据え、「3年で異動ではなく、市職員が生きがいを持てる『専門性のある人事制度』に改革します」としているが、具体的にどのように改革していくのか。</p> <p>(3) 当市の住民自治・地域自治制度は、地域協議会委員の準公選制など優れた理念の下にあるが、現状を見ると改善すべき点もある。更なる「都市内分権」に向けてどのように取り組むのか。</p> <p>2. 柏崎刈羽原子力発電所について</p> <p>(1) 相次いで不祥事を起こしている東京電力ホールディングス株式会社は、原発を運転する資格がないと思うが、市長はどう考えるか。また、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働についてどう考えているか。</p> <p>(2) 柏崎刈羽原子力発電所 30 km圏内避難準備区域 (UPZ) 議員研究会が4月に行ったアンケート結果では、30km 圏内居住に不安を感じている住民が 70.0%近くおり、「事前了解権」の必要性については、81.4%が「必要」と回答している。市民の不安などに対し、市長はどう考えているか。</p> <p>(3) 「事前了解権」を有する安全協定は、UPZ 圏内自治体で締結を求める動きが全国で広がりつつある。当市を含むUPZ 圏内の7市町が、「事前了解権」を有する安全協定を結ぶことが必要と考えるが、市長の見解はどうか。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策について、どのような姿勢で臨んでいくか、市長の考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	<p>1. 市長の政策公約について</p> <p>(1) 地域自治区をいくつにするのか聞きたい。また、どのような権限を持たせ、どのような独自予算をどんな基準で誰が立てるのか。そのプランやビジョンづくりで満足する地域像ができるのか。</p> <p>(2) 人口減少の中で子育て全国一を目指すとしているが、どのような施策でどのくらいの出生率を目指すのか。また、総額でどれくらいの予算を想定しているのか、財源の根拠も含めて聞きたい。</p> <p>(3) 農林水産物の販売力強化の中で「ふるさと納税」制度を掲げているが、取組の目標を聞きたい。</p> <p>(4) 歴史文化を生かした「通年観光」の中で、「楽しめるまち直江津」として「鉄道博物館」を作るとしているが、その規模と完成時期を聞きたい。</p>
27 番 江 口 修 一	<p>2. 上越市総合計画と行財政改革について</p> <p>(1) 第7次総合計画の策定において目玉となる具体的な構想があるか。</p> <p>(2) 非常に厳しい財政下であるが、この現状をどのように認識しているか。また、市長公約を含めたこの先8年間の財政計画(第3次財政計画)をいつ頃までに策定するのか。</p> <p>(3) 市長には、現状の行政改革がどのように見えるか。また第7次上越市行政改革推進計画はいつ頃策定するのか。</p> <p>(4) 総務省が公表している令和2年度の施行時特例市(25団体)における人口1万人当たりの職員数について、当市が84.15と一番多いが、どう考えるか。また、第4次上越市定員適正化計画はいつ頃策定するのか。</p> <p>(5) 第4次上越市公の施設の適正配置計画(令和3年度～令和12年度)について、もっと前倒しで対応できないか。</p> <p>(6) 当市における第三セクターについて、コロナ禍での経営状況の悪化に加え、市への過度な依存が目立つが、第三セクターの今後をどのように考えているか。</p> <p>(7) 行財政改革の要は、ゼロベースからの検証と費用対効果の可視化としているが、現状の事務事業の執行で非効率な点はないか。</p> <p>(8) 地方自治体DXのあるべき姿の実現に向けて「デジタル市役所の推進」を考えているか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
6	<p>1. 自治基本条例について</p> <p>(1) 上越市自治基本条例は市の憲法とも言われており、市の最高規範である。この条例に対する市長としての認識を聞きたい。また、そこから見た上越市の課題をどう捉えているか聞きたい。</p>
25 番 栗 田 英 明	<p>2. 総合計画等について</p> <p>(1) 上越市第6次総合計画は、令和4年度までの期間で進められている。第7次総合計画の策定に向けたスケジュールは今後決まってくるものと思うが、どのような策定過程を考えているか。</p> <p>(2) 現計画の期間はあと約1年あるが、そのまま進めていくことになるのか、修正すべき点があるのか。</p> <p>(3) 財政計画や行政改革、地方創生の取組も令和4年度はそのまま進むと考えているか。</p> <p>3. 人事改革について</p> <p>(1) 人事改革は早急に取り組むとしているが、具体的な課題認識と解決・解消策を明らかにしてほしい。</p> <p>(2) 組織改編も視野に入れているようなら、構想段階として明示してほしい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
7	<p>1. 市長の選挙公約について</p> <p>(1) 先の市長選挙において挙げていた幾多の公約について、以下の点を具体的に聞きたい。</p> <p>ア 「しがらみをなくして」という言葉を多用しているが、具体的にどのようなことを考え、どこまでの範ちゅうを「しがらみ」というのか。</p> <p>イ 高齢者・通学者等が安く利用できる「コミュニティバス」とは、どのようなシステムなのか。</p> <p>ウ 歴史文化を生かした「通年観光」とは、どのようなイメージを想像させたいのか。</p> <p>エ 新型コロナウイルス感染症対策として約15億円の補正予算が提案されているが、第6波も想定すると、この内容では不十分である。例えば、妙高市のように全市民に対しギフト券を配布する事業や、希望する市民が誰でもPCR検査を無償で受けられる事業が必要と考える。については、これらの事業の実施が検討されたのかを含め、今回の補正予算の編成の経緯を聞きたい。</p>
30 番 こ ん ど う 彰 治	<p>2. 金谷地区公民館整備について</p> <p>(1) 令和3年3月定例会においても同様の質問をし、答弁では関係代表とは2月に方向性などを確認し、令和3年度からの継続的な協議をお願いし進めていくとしている。現在までの協議はどのように進展してきたのか聞きたい。</p> <p>(2) この協議を受け、来年度はどのような方向性で進めていくのか具体的に聞きたい。</p> <p>3. 戊辰戦争に関係する市の対応について</p> <p>(1) 金谷山公園内には、会津墓地や戊辰戦争高田墳墓地、戊辰戦争神木隊釜子隊戦士の碑などが存続しており、地元の有志などによりしっかりと管理されている現状を踏まえて、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 11月5日に、会津若松市長と議長が会津墓地に訪れ参拝をし、関係団体などに謝辞を述べた。しかしながら、本市としては、歓迎式も無く関係ある他市と比較して非常に質素であった。会津若松市とはどのような情報を共有していたのか聞きたい。</p> <p>イ 市長も代わり、今後の市の対応について市長の考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
<p style="text-align: center;">8</p> <p style="text-align: center;">11 番 宮 川 大 樹</p>	<p>1. 上越地区における広域最終処分場について</p> <p>(1) 今年3月に県は、建設予定地に係る4次選定を公表し、上越市の5か所が選定されたが、建設予定地の選定に関する進捗状況と、最終処分場の在り方についての市長の考え方を聞きたい。</p> <p>2. 通年観光について</p> <p>(1) 市長公約における通年観光の具体策を聞きたい。特に高田地区における具体策を聞きたい。</p> <p>(2) 高田城址公園を、年間を通して来訪者の憩いの場となるよう更に整備する必要があると考えるが、市長の考えを聞きたい。あわせて、高田城復元を進める考えはあるか。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">7 番 宮 崎 朋 子</p>	<p>1. 市長が考える「通年観光」について</p> <p>(1) 「上越観光コンベンション協会」及び市内の「観光協会」の連携を一層望むが、どのように考えているか聞きたい。</p> <p>(2) 公の施設の適正配置計画が進む中、市内の温浴・宿泊施設の利用促進は重要と考えるが、その中で「J-ホールディングスグループ」の役割をどう捉えているか聞きたい。</p> <p>2. 農業分野における大雪災害の検証結果とその対応について</p> <p>(1) 昨冬の大雪災害を経験した農業、園芸の被災状況を踏まえ、今冬を迎えるに当たり、課題とその対応を聞きたい。</p> <p>3. 市民の心身の健康増進対策について</p> <p>(1) 病気まではいかないが、何となく心身が優れない状態を「未病」という。市民の心身の健康を保つためには、「未病」改善対策が必要と考えるが、市はどのように考えているか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
10	<p>1. 中川市政の今後の取組について</p> <p>(1) 新市長として「上越市の魅力を全国、世界に発信し、明るく、楽しく」と前向きな市政を作ると表明しているが、具体的に上越市をどのようなまちにしていきたいのか聞きたい。</p> <p>(2) 今後も財政健全化の取組を進める考えはあるか聞きたい。</p>
18 番 石 田 裕 一	<p>2. 選挙について</p> <p>(1) 今回のトリプル選挙での投票率向上に向けた取組の成果について、どのように評価しているか聞きたい。</p> <p>(2) 選挙公報の配布が遅く、また、配布業務も大変であり見直しが必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 期日前投票についての評価を聞きたい。</p> <p>(4) 今回、投票所へ行かない理由に、足が悪くて行けないなどの要因もあったようであるが、投票所のバリアフリーなど問題はなかったか。今後、そのような身体不自由者など、投票所へ行きたくても行けない人が投票をすることができる環境整備も必要と考えるが併せて聞きたい。</p> <p>3. 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業の成果と今後について</p> <p>(1) コロナ禍の中で1年延期になった東京オリンピック・パラリンピックにおけるドイツ体操チーム、パラ柔道チームの合宿受入を実施したその成果について聞きたい。</p> <p>(2) これを契機にドイツとのスポーツ・文化の国際交流を進めるなど、この事業をいかしていく必要があると思うが、今後の取組についての考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
11	<p>1. 女性のデジタル人材について</p>
12 番 山 田 忠 晴	<p>(1) 女性のデジタル人材について、国が方針を発表した「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2021」の中に女性のデジタル人材育成を支援する政策がある。当市ではどのように捉えているか、下記の点について聞きたい。</p> <p>ア 女性のデジタル人材育成は、出産後の再就職や介護等で働きたくても働けない方への就業を応援する。また、都合の良い日、時間で自由に働けるといふ。こうしたことから、デジタル人材不足解消や女性の雇用状況改善にもつながる。当市もコロナ禍で女性の就業や生活に深刻な影響があったと思うが、どのように把握しているか。</p> <p>イ 先進市では、約 10 年前から独自で取組を進め、現在子育て中の女性や障がい者が約 250 人働き、このうち女性の割合が 9 割で、年間受注額は約 2 億円となっているという。仕事内容も多岐にわたり、G I G A スクールで小中学校に導入されたタブレット端末の操作、授業・教員のサポートや自動運転バスの実証実験に使用する地図データ作成等となっている。当市も先進市から学び、I C T (情報通信技術) に詳しい人材を育成し、地域の人手不足や女性のデジタル人材育成に力を入れていく考えはないか。</p> <p>2. 国が実施する子育て応援給付金について</p> <p>(1) 国は、「新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子育て世帯については、児童を養育している人の年収が 960 万円以上の世帯を除き、0 歳から高校 3 年生までの子どもたちに 1 人当たり 10 万円相当の給付を行う。具体的には、子ども 1 人当たり 5 万円の現金を迅速に支給することとし、その際中学生以下の子どもについては、児童手当の仕組みを活用することで、「プッシュ型」で年内に支給を開始する。これに加えて、来年春の卒業・入学・新学期に向けて、子育てに係る商品やサービスに利用できる子ども 1 人当たり 5 万円相当のクーポンを基本とした給付を行う。ただし、地方自治体の実情に応じて、現金給付も可」としている。当市のこの施策に向けた考え方をお聞きしたい。</p> <p>(2) この給付制度は、平成 15 年 4 月 2 日から令和 4 年 3 月 31 日までの間に出生した児童が対象となる。現在妊娠中で令和 4 年 4 月 1 日以降の出産予定日の方は、対象から外れる。市として期間を半年程度延長して市独自の給付を設定し生まれてくる子どもと保護者を応援する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
12	
3 番 小 山 よ う こ	<p>1. 子宮頸がんの予防について</p> <p>(1) 子宮頸がんについて、当市の子宮頸がん検診の周知状況と受診推奨に向けた取組について聞きたい。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度の受診率は低下したが、令和3年度の受診率はどうか。</p> <p>(3) 子宮頸がん検診を受け、要精密検査受診率は年々上がっており、令和元年度では全体の79.2%、令和2年度では83.3%であった。早期治療に結びつけるためにも精密検査受診率を100%近くにするための受診勧奨について聞きたい。</p> <p>(4) 11月12日、厚生労働省の副反応検討部会が開催され、HPVワクチン積極的勧奨差し控え終了との結論が出された。女性の健康を守るためにもHPVワクチン接種が必要と考える。当市においてHPVワクチンの今後の情報提供や周知について聞きたい。</p> <p>2. 市内のキャンプ場について</p> <p>(1) コロナ禍での余暇の過ごし方として、キャンプ場がとても注目されている。今期の市内キャンプ場の利用状況はどうだったか。</p> <p>(2) 市内キャンプ施設や周辺の情報発信が足りていないと感じる。施設内容等について、画像を使うなどして分かりやすく紹介するため、ウェブサイトの内容を充実すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 近年、女性キャンパーやソロキャンパーが増え続けている。様々な視点を活かし、時代の多様なニーズに対応できるよう、施設の設備更新や周辺の整備が必要であると思うがどうか。</p> <p>3. 養鶏場からの悪臭について</p> <p>(1) 養鶏場からの悪臭に近隣住民が不快な思いをしている。脱臭装置付き密閉型縦型コンポストの増設など、臭気に配慮した設備更新を実施しているが、いまだ改善されていない。現在の進捗状況を聞きたい。</p> <p>(2) 臭気対策について今後の取組を明確にすべきと思うがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
13	
6 番 高 橋 浩 輔	<p>1. 「雁木」の維持・保存及び活用について</p> <p>(1) 「雁木」については、その維持・保存のために市民も行政も取組を続けてきたが、その縮小に歯止めがかからない状態が続いている。このことについて、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 「雁木」は残すべきと考えているか、またその理由は何か。市長の考えを聞きたい。</p> <p>イ これまでの「雁木」を維持・保存するための市民活動も含めた取組をどのように捉えているか聞きたい。</p> <p>ウ これらを踏まえて、今後の維持・保存及び活用についての方針と、具体策があれば聞きたい。</p> <p>2. 高田地区における流雪溝の整備状況と今後の見通しについて</p> <p>(1) 高田地区における流雪溝の整備状況を聞きたい。</p> <p>(2) 儀明川ダムに着工に向けての準備が進んでいる。その動きを見据えながら、それと連動する形で流雪溝未整備区間への整備を進めていくべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 春日山城跡及び周辺施設の整備活用について</p> <p>(1) 市長の公約に「春日山城を上杉謙信公の聖地とし本格的な観光地に整備します」とある。このことについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 公約の実現に向けて「足りないもの」は何と捉えているか聞きたい。</p> <p>イ 「史跡」と「観光」のバランスをどのように取っていくのか聞きたい。</p> <p>ウ 埋蔵文化財センターを、「(仮称)謙信公ミュージアム」として拠点的に整備を充実させる考えはないか聞きたい。</p> <p>4. コロナ禍における飲食事業者及び関連事業者へのこれまでの支援の評価と今後の取組について</p> <p>(1) コロナ禍により市内経済は大きな影響を受けた。とりわけ飲食事業者への打撃が大きく、それはタクシー事業者等関連事業者へも波及し、いまだに影響が続いている。市は情報収集に努め臨機に支援をしてきたが、これまでの支援の評価と今後の取組について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
14	
5 番 ス ト ラ ッ ト ン 恵 美 子	<p>1. インバウンドを見据えた観光施策について</p> <p>(1) 市長は妙高赤倉で従事した経験を基に、インバウンドを見据えた観光施策や、「通年観光」を公約に掲げていたが、具体的にどのように実施していくのか考えを聞きたい。</p> <p>2. 外国人市民が安心して暮らせる環境整備について</p> <p>(1) 外国人市民が安心安全な生活を育むため上越市もあらゆる支援体制を講じているが、特に外国人市民の多い頸城区や大潟区などにある銀行や郵便局・商店なども含め、「やさしい日本語」の周知を図るなど、積極的な啓蒙活動を検討してはどうか。</p> <p>(2) 日本語を全く使えない児童生徒が市内の小中学校に多数転入した場合の、児童生徒の学習や学校生活でのケア、また、保護者に対する連絡などのサポート体制について聞きたい。</p> <p>(3) 災害時における外国人の避難支援について、市ではハザードマップ等を整備しているが、災害時の安否確認や避難所での対応を聞きたい。</p> <p>3. コロナ禍における子育て支援について</p> <p>(1) コロナ感染回避で低迷した子どもたちの習い事を積極的に助成することで、子どもたちの学びをサポートするきっかけになり、保護者の経済的負担の緩和や間接的にコロナ禍で影響を受けた学習塾や音楽教室に対しての支援にもなると考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
15	
9 番 中 土 井 か お る	<p>1. 医療・介護制度について</p> <p>(1) 高齢者支援として、上越妙高駅周辺に予防医療・予防介護のベンチャー企業を誘致するとの考えを示しているが、どのような高齢者支援に結び付くのか聞きたい。</p> <p>(2) 地域住民が健康増進の取組を行っている事例も見られる。意欲のある地域住民を行政がサポートし、このような事例を広げていくべきと考えるがどうか。</p> <p>2. 介護の経済的負担軽減について</p> <p>(1) 老老介護の増加や家族の経済状況の悪化等により、介護費用の負担感が大きくなっているが、紙おむつ支給事業の対象者を、本人が個人市民税非課税であることに改めることができないか。</p> <p>3. 不妊治療について</p> <p>(1) 来年度から、体外受精などの保険適用外の治療にも保険が適用になる見通しである。市長は選挙公約において不妊不育治療に言及しており、不妊治療を受けやすい環境を整えていく必要があると考えている。市として不妊治療に関する相談体制の整備についてどう考えるか。</p> <p>(2) 現在、5組に1組の夫婦が不妊で何らかの治療を受けている。中学生から健康教育や性教育で出産や不妊についての知識を深めていく必要があると考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
16	<p>1. 脱炭素社会について</p> <p>(1) 市は、脱炭素社会の実現に向けて、令和4年度に策定する次期上越市地球温暖化対策実行計画において、国や県の動向を踏まえた削減目標を設定するとしている。また、上越市再生可能エネルギー導入計画においては、各事業モデルの実績からエネルギーの安定供給や地産地消、災害時のエネルギー確保に向けて、再生可能エネルギー導入の推進を図るという当初の目的をおおむね達成したとしている。しかし、今後の展開には様々な課題が残ることも考察される。市長はその政策、最先端のエネルギー制度において、再生可能エネルギー(太陽光発電、小水力、バイオマス、雪氷冷却熱)を進めるとしている。それらをどのように進めようとしているのか考えを聞きたい。</p> <p>2. 歴史文化を生かした「通年観光」について</p> <p>(1) 春日山城を上杉謙信公の聖地とし本格的な観光地に整備するとした。その方策について聞きたい。</p>
19番 小林 和孝	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
17	<p>1. 市政運営について</p> <p>(1) 市政運営に当たり、市の財務状況の把握とその上に立った財政計画が最も重要と考えるが、現時点においては、コロナ禍における市内経済活動の低迷など、市の歳入が相当落ち込むと予想される。このような状況下において、市長の今後の市政運営の考えを聞きたい。</p> <p>2. 保倉川放水路整備について</p> <p>(1) 保倉川放水路整備について、これまでの長年にわたる経緯があり、多くの紆余曲折があった。しかし、現在はおよそその整備ルートに当たる地元との合意が得られ、国による整備のための事前調査が行われている。市長就任に当たり、当市にとって大事業ともいえる保倉川放水路整備に関し、改めてこの事業に対する認識と、現在の課題や今後の対応についての考えを聞きたい。</p>
22番 波多 野一 夫	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
18	
8 番 高 山 ゆ う 子	<p>1. 災害対応について</p> <p>(1) 市長公約で、あらゆる災害に対する緊急対策について「素早く分かりやすい対策」を打ち出し、防災ラジオも活用するとあるが、防災ラジオをどのように活用するのか。また、防災ラジオがない地域については、どのような情報伝達を考えているか。</p> <p>(2) 市は、本年8月に改訂した上越市洪水ハザードマップを全戸に配布した。近年、多発する集中豪雨に伴い、千年に一度の大雨を想定し、前回より浸水深がより深く、さらに浸水エリアも増えている。市民に対して、どのように周知し備えてもらうのか。</p> <p>(3) 災害対応は、自主防災組織の代表である町内会長と地域の防災士との連携が重要だと考えるが、当市における現状と今後どのように連携を進めていくのか聞きたい。</p> <p>(4) 近年、市内においてペットは家族の一員として大切に思う世帯が多いが、災害時のペット同行避難について市の考え方や対応を聞きたい。</p> <p>(5) 上越総合運動公園にある謙信公武道館は、位置的にも利便性が高く、災害時の避難施設としての活用が望まれるが、活用に当たり県との調整が必要ではないか。</p> <p>(6) 大災害に備え、長岡市のように防災公園を整備する考えはないか。</p> <p>2. 学校のトイレ改修並びに女子トイレにおける生理用品の常備について</p> <p>(1) 小中学校のトイレ改修状況について、昨年6月に確認した際、未改修の学校が半数近くあった。計画的に改修整備を行うとのことだが、子どもたちの学校生活にとって毎日使う大切な場所であるため、コロナ禍における衛生面も考慮し、子どもたちのために乾式の洋式トイレに1日も早い改修が望まれるがどうか。</p> <p>(2) 本年9月定例会後、生理用品を女子トイレ内に常備することについて、養護教諭らと女性目線に立った話合いは実施されたのか。最近は、「生理の尊厳、生理の公平」と言われ、全国でも常備が進んでいるが、当市は進めないのか。</p> <p>3. ふるさと納税について</p> <p>(1) 市長公約の一つに農林水産物の販売力強化として「ふるさと納税」制度を活用し、返礼品による上越産品の需要を高めるとあるが、具体的な戦略を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
19	<p>1. 子どもたちの学びの保障についてのいくつかの課題について</p> <p>(1) 就学援助制度について、次の点を聞きたい。</p> <p>ア 現在、準要保護認定基準は市民税が非課税又は減免の世帯、前年度所得が生活保護基準の1.3倍以下の世帯となっている。認定基準を生活保護基準の1.5倍以下に広げるなど大幅に緩和すべきではないかと思うがどうか。</p> <p>イ 援助対象費目については、これまでも費目の拡充や国庫補助単価の改正などによって増額援助されてきたが、更に拡充する考えはないか。特に、国も援助費目として挙げているクラブ活動費やオンライン学習通信費、通学用品費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)も対象とすべきではないか。</p> <p>(2) 返済しなくてもよい奨学金制度の創設について、次の点を聞きたい。</p> <p>ア 市長は「大学を卒業して上越市に帰ってきたときに返済しなくてもよい奨学金の制度」ということを市長選時の公開討論会で発言しているが、公約と受け止めてよいか。</p> <p>イ その実現の可能性について、検討着手や提案時期などの考えを聞きたい。</p> <p>ウ 現在、経済的な理由により就学が困難な高校生や大学生などに対する無利子の「奨学金貸付事業」や、地域の発展に寄与する専門的知識を有する人材、まちづくりの指導者となる人材等に対して支援を行う「謙信公アカデミー推進事業」などがあるが、それらの制度との整合性も含めてどのように考えるのか。</p>
29 番 上 野 公 悦	<p>2. 財政調整基金について</p> <p>(1) 財政調整基金の適宜適切、有効な活用について、基本的な考えを聞きたい。</p> <p>(2) 市長は、財政調整基金については「100億円規模で維持したい」と表明しているが、そもそも当市財政力や諸事情を勘案したとき、財政調整基金の適正規模額はいくらと考えるのか。</p> <p>(3) これまで「行財政改革」の下で公の施設の統廃合(「適正配置」と称している)が進み、また公共施設の利用料金、使用料等の引上げなどによる市民サービス低下や負担増が行われてきた。こうしたことと重ね合わせて考えたとき、多額の財政調整基金の積立てを市民にどう説明するか。また、一定程度の有効活用で必要な事業に充てるべきではないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
20	<p>1. 多子世帯支援事業から少子化対策事業への転換について</p> <p>(1) 市の子育て支援政策の中に、多子世帯の家計支援事業として平成18年に事業が開始された「上越市子育てジョイカード」があるが、当時と比べて多子世帯が減少しており、また子育て環境を取り巻く社会情勢の変化、個人の価値観の多様化等によって、少子化に歯止めが掛かっていない。さらに、経済的に困窮する子育て世帯が増加しているという。</p> <p>市は、多子世帯向け支援政策としての子育てジョイカード事業を廃止し、新たに少子化対策事業として、次世代を担う地域社会の宝である子どもの健全な育成を、地域社会で支えるための事業を創立すべきと考えるがどうか。</p> <p>具体的には、市内の満18歳未満の子ども全員に対し、この事業に協賛する企業その他の団体の割引サービスその他の便宜の供与を受けることができる「子どもポジティブカード(仮称)」を交付してはどうか。</p>
4 番 鈴 木 め ぐ み	<p>2. ふるさと納税やクラウドファンディングの積極的な活用について</p> <p>(1) これまで市ではふるさと納税制度に対して、全国的に返礼品目的の寄附が目立ち、本来の趣旨と異なるとして、積極的に取り組んでこなかったと考えられるが、今後はどのようなスタンスで取り組むか考えを聞きたい。</p> <p>(2) 自治体が行うクラウドファンディングが、近年特に注目を得ている。そして、これは寄附者が寄附金の使い道のある程度選択できるため、寄附の用途を明確にすることによって、寄附者にとっても寄附のしがいがあり、また、自治体と寄附者の継続的なつながりを維持することも期待され、上越市のファンの獲得が見込まれる。市として取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) コロナ禍で運営難に陥っている子ども食堂事業を推進し支援するため、市は必要に応じ財政調整基金から支出、又はクラウドファンディングの手法を用いて財源を集め、貧困する子どもへ強力な支援を実行すべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 世界的なSDGsの目標達成に向けた取組について</p> <p>(1) 令和3年9月定例会において質問した、SDGsの目標となる食品ロス軽減につながるフードロス自動販売機について、何か進捗はあるか。世界的なSDGsの目標達成に向けて、主に環境面に配慮する姿勢を、市としても更に積極的に見せるため、公共施設に率先して設置する取組を進めてはどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
21	<p>1. 市長が描く新たな上越市づくりについて</p>
14 番 丸 山 章	<p>(1) 「中川かん太は必ず実行します」との公約で掲げた政策の中で、この度は「子育て支援」及び「歴史文化を生かした「通年観光」の主な政策(施策)を具現化するための具体的な手法と個別政策(施策)の優先順位及びおおよそのタイムスケジュールを聞きたい。さらに、令和元年度で合併算定替特例措置が終了したことに伴い、地方交付税が約50億円減少している中で、個別政策(施策)ごとの財源はどの程度見込んでいるのか聞きたい。</p> <p>ア 子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子育て全国一を目指す。 ②保育料を県内で一番安くする。 ③不妊不育治療費を国の保険適用まで全額無償にする。 ④大学、専門学校等の奨学金を給付する。 <p>イ 歴史文化を生かした「通年観光」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①雪国文化の「雁木町屋」「寺町」の町並みの整備・保存をする。 ②町家・古民家を整備し、観光資源として「通年観光」を実現する。 ③えちごトキめき鉄道や軽便鉄道と連携して、「鉄道博物館」を作る。 ④春日山城を上杉謙信公の聖地とし本格的な観光地に整備する。 <p>2. 買物弱者対策について</p> <p>(1) 日常の買い物が困難な状況に置かれている市民に対して、市は「朝市」「大島やまざくら」の運営や、コンビニエンスストアや大手小売業者が移動販売を行う際、販売場所等の調整を行っている。さらに、市内11の住民組織で、市が購入支援した車両を有効活用し、買物ツアーや外出支援などの自主的な取組等を実施しているとのことであるが、多くの市民は利用していないのが実態と考えられる。また、JAの食材やインターネット等で購入できる環境にあるものの、多くの高齢者にとって様々な情報をキャッチし利用することは困難である。既に高齢化社会を迎えている今の時代にあって、必要とする食材・品物等がワンストップで分かりやすく購入できる環境を整えることは、極めて重要と考える。ついては、次の事業を提案するが実施についての見解を聞きたい。</p> <p>〔事業名〕 (仮称)買物郵便事業</p> <p>〔要旨〕</p> <p>今般、中山間地域はもとより中心市街地等でも高齢者世帯が増加しているうえ、運転免許証の返納が買物弱者の増加に拍車をかけている。こうした状況に対処するため、高齢者等の世帯が自宅で安心して生活できるよう、ワンストップで様々な買い物をできる環境に導くことを旨とする。</p>

[具体策]

◇対象者(世帯)

- ・登録制とする。
- ・同居でも別世帯及び運転免許証返納等に伴い運転者がいない、車保有のない者(世帯)

◇委託団体

- ・登録制とする。
- ・各種団体(まちづくり振興会等)、郵便局、衣食住関連の商店

◇ポスト設置箇所

- ・おおむね半径500m以内に

◇事業の流れ

- ・対象者(世帯)の注文書 → 郵便局 → 各種団体まちづくり振興会等)が取りまとめ、発注 → 衣食住関連の商店 → 対象者(世帯)に届け、代金はその場で精算又は口座振替とする。

◇対象者(世帯)の費用負担

- ・郵便買物事業登録者……会費1,500円/月

※算出根拠……燃料(ガソリン)代 300円×10回/1か月×12か月=36,000円(3,000円/月)

(10km×往復=20km、ガソリン10km/ℓ走行

150円(片道)/ℓ×往復=300円)

※補助額1/2

ただし、高所得世帯の補助は要検討

順位	
議席氏名	質 問 事 項
22	<p>1. 「なおえつ うみまちアート」について</p> <p>(1) なおえつ うみまちアートが、「様々な地域資源と現代アートを組み合わせた作品の展示や参加型のイベントを通じて、直江津の歴史や文化、風土などまちの魅力を引き出し、地域の価値を見つめ直す機会とするとともに、作品鑑賞等に訪れた方々が、まちを巡る中で新しい出会いや交流によって、まちの賑わいを創出する。」を目的とし、8月1日～9月26日に開催された。事業の実施について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 目的は達成されたか。また、事業の成果と課題は何か。</p> <p>イ 地域住民の関与や連携は十分に行われたか。</p> <p>ウ 実行委員会形式による運営は適切であったか。</p> <p>エ 計画・準備期間及び会期は適切であったか。</p> <p>オ 事業費は適切であったか。</p> <p>(2) なおえつ うみまちアート又は同様のイベントについて、来年度以降の開催をどのように検討しているか聞きたい。</p>
2番 安田佳世	<p>2. 上越市の教育・保育及び子育て支援について</p> <p>(1) 市長は公約の中で、子育て支援について「子育て全国一を目指す」としているが、どのような状況を目指し、具体的にどのような施策を行うのか。</p> <p>(2) 本定例会に議案第102号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第5号)として、新型コロナウイルス感染症対策のために市内の小中学校、幼稚園、保育園、認定こども園のトイレの手洗い場を自動水栓に改修することが提案されている。本定例会で提案した理由と、本事業の効果をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>(3) 近年、子どもたちの乳幼児教育・保育を担う場の多様化や保護者ニーズの多様化が見られる。上越市においては、保育園の民営化や、幼稚園・保育園の認定こども園化が進んでいる。上越市として、乳幼児教育・保育に関するニーズをどのように捉え、今後どのような方針で取り組んでいくのか。</p> <p>(4) 市立保育園の民営化によって縮減した経費を、子育て支援等に振り向けることが可能になるという市の考えがあるが、今後どのような支援を行う予定なのか聞きたい。</p> <p>(5) 全国的に保育士・幼稚園教諭・保育教諭等の人材確保が厳しい状況にあり、上越市においても同様である。多様な保育需要への対応や、質の高い乳幼児教育・保育のためには、保育士等の十分な確保が必要であり、今後より一層力を入れて取り組むべきである。国の施策に先駆けて、保育士等への賃金引上げを行ったり、上越市内に保育士等として就職する人に支援金や祝金等を支給する制度を創設したりしてはどうか。人材確保の観点に加えて、若者のU I Jターンに結び付く可能性からも、検討の必要があると考えるがどうか。</p>

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
23		
17 番 池 田 尚 江	<p>1. 中川市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 「市民や市職員の自由で発展的な発想・発言を大切にします」と言われているが、今定例会に提案された副市長4人制は、選挙後、短い時間の中で市民・職員とどのような意見を交わし、提案に至ったのか聞きたい。</p> <p>(2) 「特定の業界と既得権益によるしがらみを持ちません」と言われているが、現にこのようなしがらみがあると認識しているのか。</p>	
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
24		
23 番 大 島 洋 一	<p>1. 「地域が主役の地域分権」について</p> <p>(1) 市長は「地域」の現状をどのように捉え、目指す「新しい自立した地域づくり」の姿をどのように考えているのか。また、「地域分権を確立する」とは、どういう内容なのか聞きたい。そして、「専門性のある人事制度」や、「地域や地元のことがわかる市職員の配置」や、「地域独自の予算」や、「ものづくり高度化」のための支援制度をつくる、とするが、それぞれの内容を聞きたい。</p> <p>2. まちづくり活動について</p> <p>(1) 各地域における、NPOや住民組織などが行うまちづくり活動の現状をどう考えるか。とりわけ、住民が行うまちづくり活動を支援したり、自ら積極的に活動する振興会(まちづくり振興会)などは、人的、財源的な課題があり、支援策を改善すべきと考えるが、市長の考えを聞きたい。</p> <p>3. 特定地域づくり事業協同組合について</p> <p>(1) 国が昨年6月に施行した「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」に基づき、「特定地域づくり事業協同組合」を設立する動きが県内でも具体化している。当市でも検討していると聞けが、その状況や、今後さらに他地区に広げる考えがないのか、聞きたい。</p>	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
25	<p>1. 地球温暖化対策について</p>
20 番 平 良 木 哲 也	<p>(1) 2016年度から2022年度の7年間を計画期間としている上越市地球温暖化対策実行計画では、2012年度比の削減目標を、2022年度までに14%、2030年度までに26%としているなど、地球温暖化を防ぐ立場に立っているとは言い難い。COP26(第26回国連気候変動枠組条約締約国会議)の首脳級会合において「化石賞」という不名誉な賞を受賞した日本政府ですら、2013年度比の削減目標を、2030年度までに46%としている中、計画年度終了を待たずに計画の再考を行うべきではないか。</p> <p>(2) 地球温暖化対策実行計画の区域施策編における具体的な取組項目の進捗状況はどうなっているか。特に次の各点について明らかにされたい。</p> <p>ア 公共施設に太陽光発電設備の導入を率先して進めます。</p> <p>イ 工場や店舗、事務所への太陽光発電設備の導入支援を検討します。</p> <p>ウ 住宅用太陽光発電施設の導入支援を進めます。</p> <p>エ 公共施設にバイオマスエネルギーの利用を率先して進めます。</p> <p>オ 温度差エネルギーの利用を推進します。</p> <p>カ 地域の水資源を活用した小水力発電施設の設置を検討します。</p> <p>(3) 上記の各点の推進に際してはそれぞれ困難な点も少なくないが、この間の技術革新や世論の高まりの中で可能性も大いに広がっている。今後の推進のためにどのような検討を行っているか。</p> <p>(4) 地球温暖化対策を更に推進するためには、市としていわゆるシュタットベルケを創設して、上越市が再生可能エネルギーで自立することを目指すことが重要な手段となると考える。この点について、どのように考えるか。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
26	<p>1. 難聴対策について</p>
31 番 橋 爪 法 一	<p>(1) 県内では、難聴対策の一つとして18歳以上の軽・中等度難聴者への補聴器購入補助制度が広がってきている。当市でも取り組む考えはないか。</p> <p>2. 医療問題について</p> <p>(1) 県立病院の市町村移譲、民営化方針をどう見ているか。</p> <p>(2) 県は「地域医療構想実現に向けた今後の進め方」の中で医療圏域ごとに「中核病院」への医師の集中配備を目指しているが、これについての認識を聞きたい。</p> <p>(3) 新潟県が上越地域医療構想調整会議の承認を経て「重点支援区域」の指定申請を行ったことについてどう考えるか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項	
議席 氏名		
28	<p>1. 市長の政治姿勢及び公約について</p> <p>(1) 市長が掲げる「若者が帰って来なくなるまち」とは、どのようなまち(市)なのか、加えてその取組について具体的に聞きたい。</p> <p>(2) 上越市は「遅れている」と市長は言うが、どのようなことが遅れているのか聞きたい。加えてその対策の取組について聞きたい。</p> <p>(3) 歴史文化を生かした「通年観光」へ!と5つの観光政策の公約を掲げられた。市長がそれぞれにイメージする内容を具体的に聞きたい。</p>	
24 番 渡 邊 隆	<p>2. 新野球場建設について</p> <p>(1) 教育委員会は、野球関係団体からの要望を受け、上越総合運動公園で敷地調査を行ったが、検証結果について聞きたい。</p> <p>(2) 市長は当市における新野球場建設構想についてどのような考えか聞きたい。</p>	